地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

令和7年度 **成果報告書** 概要

北海道札幌市

自治体の課題、現状

・札幌市立中学校の生徒数は、平成25年度の45,149人から令和7年度には43,673人と約1,500人減少。学校部活動も、令和7年度は運動部921部、文化部231部、合計1,152部と、平成25年度から60部減少している。

・昨今の出生者数の状況を踏まえると、将来的には札幌市においても大幅な中学校生徒数の減少が見込まれることから、少子化が進む中にあっても、将来にわたって生徒が継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保・充実するため部活動改革を進めていく必要がある。

地域クラブ活動等の概要

中学校数	97校	全生徒数	43,673人
域内の部活動数	1,152部活（運動部921部、文化部231部）	実施した地域クラブ数	3クラブ
全体の指導者数	51人	全体の運営スタッフ数	9人
主な運営団体	・NPO法人Mirrisoスポーツ(総合型地域スポーツクラブ　サフィルヴァ) ・一般財団法人札幌市スポーツ協会　など		
主な種目	ハンドボール、多種目体験型、ダンス		
平均的な活動回数	期間中に全8回など	年間平均参加生徒実数	3年：17人/クラブ 2年：45人/クラブ 1年：45人/クラブ
参加会費	500円/回（多種目） 8,000円/全8回(ダンス)	主な活動場所	中学校、市内スポーツ施設等

取組の概要や成果

多種目体験型スポーツ教室（やるスポ）：札幌市スポーツ協会と連携し、各競技団体・市内のスポーツ施設を活用することで、学校部活動にはない種目も含めた多様な体験機会を提供。参加生徒からは、体験した種目を継続的に習いたいという声が聞かれ、スポーツに親しむきっかけづくりとなった。

ハンドボールクラブ：既存の部活動をベースに「生徒のレベル・志向に合わせたクラス別での活動」や「隣接する中学校などが合同で活動」といった形で活動。クラス別の活動により生徒の満足度が向上したほか、複数校の生徒が参加したことで地域展開に向けた機運醸成を図ることができた。

ダンスクラブ：プロダンスチーム「SEGA SAMMY LUX」のダンサーを講師に迎え、専門性の高い指導を実施。また、企業の協力により、参加生徒が「さっぽろ雪まつり」のステージに立つなど、活動機会の充実につながる取組となった。

運営体制図（一部事業のみ抜粋）

